

## <インドスタディツアー>

# 持続可能で「人間味」のある成長に向けた協働

CAUX ROUND TABLE



日 時：2014年11月10日(月)～11月15日(土)  
11月10日(月)～12日(水) 現地視察ツアー  
11月13日(木)～15日(土) 国際ワークショップ

場 所：11月10日(月)～12日(水) Mumbai/Pune  
11月13日(木)～15日(土) Panchgani

定 員：10名

参加費：550,000円(税抜/現地宿泊費、食事代含む)  
※渡航費、ビザ取得費、旅行保険代金は含まれて  
おりません

言 語：日本語、英語

主 催：経済人コー円卓会議日本委員会  
国際IC日本協会  
Caux Initiatives for Business(CIB)

協賛(予定)：TATA, TATA Steel, Forbes Marshall,  
KAYAMO, KEIHIN, Mahindra, MRININ,  
SIEMENS, SKF, THERMAZ, TRANSASIA

本スタディツアーでは、近年、国際的に関心の高まっている「ビジネスと人権」\*に関する課題に取り組むにあたっては、根本的で包括的なアプローチが必要という理解のもと、日本企業との関係も深いインドを訪問し、CSR課題に関し実情を視察します。また、TATAグループをはじめとしたインドを代表する企業関係者との対話を通じ、現地における企業の役割や企業への期待についても理解を深め、契約停止といった一過性の対応にとどまらない、より根本的な「人間味」のある問題解決方法について探っていきます。後半には、国際ワークショップに参加し、他国からの参加者とともに「持続可能で人間味のある成長に向けた協働」というテーマのもと意見交換を行います。また、本ツアーを通じてまとめた意見を世界に発信していきます。

\*「ビジネスと人権」

「国家の保護する義務」、「企業の尊重する責任」、「救済」というビジネスと人権に関する枠組み(いわゆるラギー・フレームワーク)の国際的な承認とともに、企業に対し自社の事業活動によって生じる「人権」への負の影響に対処するよう求める声が高まっています。この「企業には人権を尊重する責任がある」という考え方は、「ISO26000(2010年)」や「OECD多国籍企業の行動指針(2011年改訂)」といった社会的責任に関する国際的なガイドラインにも反映されており、責任ある主体として、また、リスクマネジメントの観点からも、自社のみならずサプライチェーンやビジネス上の関係から生じる「人権」への影響に適切に対応していくことが一層重要となっています。



## プログラム内容

### ●現地視察ツアー(Mumbai/Pune)

TATAグループをはじめとした現地企業やNGOを訪問し、現地の実情について視察し、意見交換を行います。

### ●国際ワークショップ(Panchgani)

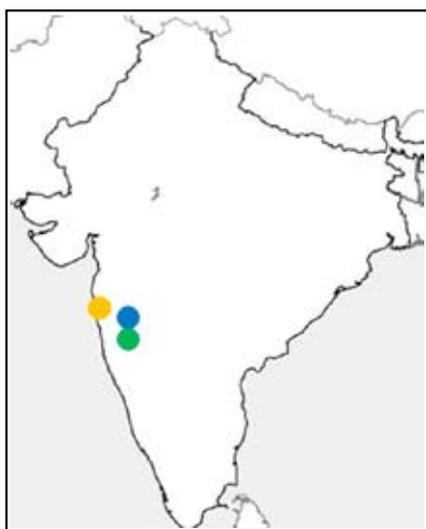
Caux Initiatives for Business (CIB)\*と経済人コー円卓会議日本委員会 (CRT日本委員会)\*主催の国際ワークショップに参加し、「持続可能で人間味のある成長に向けた協働」というテーマのもと、他国からの参加者と意見交換を行い、アジア型の「人間味」のある問題解決アプローチについてまとめ発信していきます。

### 【プログラム(予定)】

視察ツアー	11/10(月) Mumbai	13:00	集合(Mumbai市内ホテルロビー)
		午後	企業視察1 : Transasia BioMedicals(予定)
		夜	振り返りセッション
	11/11(火) Pune	終日	工場視察1 : Keihin FIE Ltd. (予定) 工場視察2 : Jayshree Polymers(予定) 企業視察2 : Forbes Marshall (予定) NGO視察(調整中)
		夜	振り返りセッション
	11/12(水) Pune	終日	工場視察3 : Mahindra Hindolaya (予定) 工場視察4 : Indo-Shottle(予定) NGO視察(調整中)
夜		振り返りセッション	
国際ワークショップ	11/13(木) Pune Panchgani	午前	視察ツアー振り返りセッション 国際ワークショップに向けての準備
		16:30	国際ワークショップ開会 基調講演 ・ Mr. Sarosh Ghandy (Former Executive Director, Tata Motors/ Managing Director, TELCON) ・ 矢野 弘典氏(中日本高速道路株式会社 前会長)
		夜	振り返りセッション
	11/14(金) Panchgani	午前	ワークショップ1 - CSR課題の特定について ・ 日・印企業による事例発表 ・ Q&A
		午後	ワークショップ2 - CSRのインプリメンテーションについて ・ 日・印企業による事例発表 ・ Q&A  ワークショップ3 - CSR課題の文化的、社会的背景の理解 ・ 石田 寛(経済人コー円卓会議日本委員会 専務理事兼事務局長) ・ グループディスカッション
		夜	振り返りセッション
	11/15(土) Panchgani	午前	パネルディスカッション ・ 労働安全衛生、メンタルヘルス、ビジネス上の関係等について  まとめ
		14:00	国際ワークショップ閉会 解散

※プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。  
※振り返りセッションは日本語で行います。

【訪問予定地】※訪問先は変更になる場合があります。



- Mumbai  
企業視察1：Transasia BioMedicals 体外診断用医療機器製造
- Pune  
工場視察1：Keihin FIE Ltd. 気化器サプライヤー  
工場視察2：Jayshree Polymers 合成ゴム製品サプライヤー  
企業視察2：Forbes Marshall 環境ソリューションサービス  
  
工場視察3：Mahindra Hindolaya フェライトサプライヤー  
工場視察4：Indo-Shottle エンジン部品サプライヤー  
  
NGO視察：調整中
- Panchgani  
国際ワークショップ

## 本プログラム参加のメリット

### A. 視察を通じた社会・文化的背景の理解

Mumbai、Puneの二都市を中心として、インド企業の施設訪問やNGOとの対話等を通じ、現地社会および現地企業のCSRについて学びます。「百聞は一見にしかず」、ご自身の目で実情を確認することができます。また、それらの経験を単に「見た」という状態で終わらせることなく、各日に設けられた振り返りセッションを通じ、整理し、自身の糧とすることができます。

### B. 対話を通じた現地での企業の役割および企業への期待についての理解

現地企業人との対話を通じ、インド社会において企業はどのような役割を担っており、何を期待されているかを学びます。インフラや政府機能の脆弱な地域において企業の果たす役割について再考することにつながるるとともに、“license to operate (操業のための許可)”の理解にもつながるものと考えます。

### C. 根本的で「人間味」のある問題解決方法の模索

CSR課題の中には、原因の切り離し・切り捨てといった対処では、かえって問題の悪化につながるものもある(例：児童労働等)ことを念頭に置き、関係者と共に改善に向かって歩むことを前提とした「人間味」あるアプローチでの解決方法について探ります。サプライヤーやビジネスパートナーとの共栄共存を前提とした取組みは日本企業の多くが伝統的に大切にしてきた部分であり、自社での経験を現代世界の課題解決のためにどのように活かせるかを考えるきっかけとなると考えます。

### D. インドのビジネスリーダーとの共通理解の醸成

国際ワークショップにおける意見交換や、学び合いを通じ、インドのビジネスリーダーと共通理解を築くことができます。

### E. インドを代表する企業関係者とのネットワーキング

TATAグループをはじめインドを代表する企業関係者とのネットワークを築けます。

### G. 世界に向けた情報発信

6日間を通じて学んだ内容を報告会(東京)にて発表するとともに、意見としてまとめたものを世界に向け発信します。

## <インドスタディツアー>

# 持続可能で「人間味」のある成長に向けた協働

- 主 催：経済人コー円卓会議日本委員会  
国際IC日本協会  
Caux Initiatives for Business(CIB)
- 協 賛：TATA, TATA Steel, Forbes Marshall, KAYAMO, KEIHIN, Mahindra, MRININ, SIEMENS,  
SKF, THERMAZ, TRANSASIA(予定)
- お問合せ/お申込み

経済人コー円卓会議日本委員会(担当：野田)  
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-33渋谷三信三信マンション505号室  
TEL：03-5728-6365 Email：info@crt-japan.jp

\*経済人コー円卓会議日本委員会(Caux Round Table Japan)：  
1986年にスイスのコーにて日・米・欧のビジネスリーダーのイニシアティブとして創設。1994年に民間初の多国間行動規範である「CRT：企業の行動指針」を発表し、共生、人間の尊厳(人権)、ステークホルダーという3つの原則を提起。2006年に特定非営利活動法人(NPO)として日本での活動を開始。日本企業に対しCSRの啓発・普及活動を行うとともに、経営への落とし込みのための様々なサポートを提供。  
<http://www.crt-japan.jp/index.html>

\*国際IC日本協会(Initiative of Change Japan)：  
スイスに本部を置き、国連の認定を受けた国際NGOとして世界100カ国以上で世界の平和と融和に資する活動を実施。  
[www.jp.iofc.org](http://www.jp.iofc.org)

\*Caux Initiatives for Business (CIB)：  
1973年にスイス・コーにて創設され、ビジネスにおける誠実性や倫理性といった主題を中心に、グローバル課題をテーマにした企業人向けの年次会合を主催。2003年にアジア地域で初の会合をインド・バンチガーニーで開催以来、当地にて定期的に会合を開催。国内外から多くの参加者を集めている(2013年は20ヶ国218名が参加)。  
<http://www.cauxbusiness.com/about>